

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：2 年次

使用教科書：（「論理国語」数研出版）

教科 国語

の目標：

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	書	読					
前期	A 文章中の抽象的な表現の内容を踏まえ、筆者の「芸術」についての考え方を理解させる。 【知識及び技能】 ・文章の構成や展開の仕方について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の感性や着眼点、表現の特徴について整理し、主張に説得力を持たせるための論理展開について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に沿った言語活動を行わせることで、学習内容の理解を深めさせる。	【指導内容】 ・ミロのヴィーナスの「魅力」について、筆者の考えをまとめさせる。 ・筆者の表現の工夫とその効果について考えさせる。 ・「他の対象」について、筆者が抱く感想をまとめさせる。 ・「アイロニー」という言葉について、逆説的な表現の内容を理解させる。  【教材】 「手の変幻」（清岡卓行）			○	【知識及び技能】 ・文章の構成や展開の仕方についての理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の着眼点、表現の特徴について整理することで、主張に説得力を持たせる論理展開について考察を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文の構成や論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。	○	○	○	8
	B 論理的な文章を読み、逆説的な事例について考えさせる。 【知識及び技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・効果的な文章の構成や論理展開の工夫を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に沿った言語活動を行わせることで、学習内容の理解を深めさせる。	【指導内容】 ・「胆力」の言葉の意味を確認させる。 ・「驚かない」ためには「驚く」ことが大切であるという筆者の主張の根拠を読み取らせる。 ・主張を支えるための事例を参考に、異なる事例を考え、発表させる。 ・筆者が高校生に伝えようとしていること、それに対する自分の意見をまとめさせる。  【教材】 「胆力について」（内田樹）			○	【知識及び技能】 ・論理的な文章を読み、文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・異なる立場の読み手を説得することを目的とした、効果的な文章構成や論理展開の工夫について理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って、逆説的な事例を考えようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
	C 現代日本社会における「中間社会」の現状と課題について考えさせる。 【知識及び技能】 ・哲学的な意味を持つ語句について、内容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理的な文章を読み、個人と社会とのつながりについて理解を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に沿った言語活動を行わせることで、学習内容の理解を深めさせる。	【指導内容】 ・「近景」「遠景」という言葉を確認させた上で、「中景」の存在について考えさせる。 ・「『中間社会』の崩壊／凋落」について、その変遷と理由を確認させる。 ・「中間社会」が存在することのメリット・デメリットについて考えさせ、グループで共有した意見を全体に発表させる。 ・「内的成長」「生きる意味」という言葉を考えさせた上で、個人と社会とのつながりについて話し合わせる。 ・「資本主義社会と本当の『豊かさ』」を読み、自分の考えをまとめさせる。  【教材】 「『内的成長』社会へ」（上田紀行） 「資本主義社会と本当の『豊かさ』」			○	【知識及び技能】 ・学術的な文章を読んだり論証したりするために必要な語句の意味内容を理解することで、語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代日本における「中間社会」の現状と課題を考察することで、個人と社会とのつながりについて理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個人と社会とのつながりを自分のこととして捉え、「本当の豊かさ」とは何かについて考えようとしている。	○	○	○	8

前期	D 「添削」「推敲」についての筆者の考え、近代芸術の問題点について考えさせる。 【知識及び技能】 ・「添削」と「推敲」の違い、「添削」の役割について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近代芸術が抱える問題点について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に沿った言語活動を行わせることで、学習内容の理解を深めさせる。	【指導内容】 ・「近代芸術」に関する、筆者の考えについて確認させる。 ・「添削」と「推敲」の違いについて確認させる。 ・「添削」の意義について考えさせる。 ・「表現の普遍化」「古典化」とは具体的にどういうことか、説明させる。 ・添削を受けるときの態度、他人の作品を添削するときの態度について、自分の考えをまとめさせる。  【教材】 「添削の思想」(外山滋比古)							○	○	○	4				
	定期考査									○	○	1				
後期	A 環境問題についての筆者の論理を捉え、持続可能な社会について考えさせる。 【知識及び技能】 ・情報と情報との関係について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「未来世代への責任」というテーマを理解した上で、環境問題に対する考察を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に沿った言語活動を行わせることで、学習内容の理解を深めさせる。	【指導内容】 ・「経済学者の『悪魔』ぶり」について考えさせる。 ・筆者の論と「京都議定書」の関連について確認させる。 ・「各国家間の利害」と「二つの世界の間の利害」との違いについて考えさせる。 ・「『悪魔』としての役割を果たした」と筆者が述べるのはなぜか説明させる。 ・「地球環境問題」を読み、持続可能な社会に向けてどのように取り組んでいくか、自分の考えを書かせる。  【教材】 「未来世代への責任」(岩井克人) 「地球環境問題」										○	○	○	6	
	B 科学に対する筆者の考えを捉え、科学と社会との関わりについて考えさせる。 【知識及び技能】 ・情報と情報との関係について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・科学における「権威主義」について理解した上で、科学と社会の関わり方について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に沿った言語活動を行わせることで、学習内容の理解を深めさせる。	【指導内容】 ・「技術」「科学」に関する変遷を表にまとめさせる。 ・「近現代の科学・技術」について、科学者がどのような社会的存在であったかを確認させる。 ・科学者が負うこととなった「社会的責任」について考察させる。 ・「国家に奉仕する『道具』としての意味合い」について、筆者がどのように考えているか説明させる。 ・「近代科学の功罪」を読み、具体例を挙げながら、その功罪について話し合わせたうえで、科学のあり方について、自分の意見をまとめさせる。  【教材】 「科学・技術の歴史の中での社会」(村上陽一郎) 「近代科学の功罪」											○	○	○	8
	C メディアと群衆現象との関係を整理した上で、メディアと「群衆」との新たな関係について考えさせる。 【知識及び技能】 ・情報を階層化し整理する方法について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容や構成、論理展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に沿った言語活動を行わせることで、学習内容の理解を深めさせる。	【指導内容】 ・「ピクチャーブラネット」と表現された地球の状態について本文に即して説明させる。 ・メディアと群衆の関係についてベルリンの壁の崩壊前後での変化についてまとめさせる。 ・「ポスト情報化社会」の特徴についてまとめさせる。 ・「待機する群衆」の出現によって、芸術や政治の分野で起こっている新たな現象について事例を探し出させる。 ・メディアと「群衆」の新たな関係について考えさせる。  【教材】 「擬似群衆の時代」(港千尋)												○	○	○
定期考査												○	○	1		

<p>D 「メディア」と「スポーツ」の関係から「社会」について考えさせる。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章中の比喩表現や強調表現の内容を理解させる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を踏まえ、資料との関係を把握し、内容や構成を捉えさせる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に沿った言語活動を行わせることで、学習内容の理解を深めさせる。</li> </ul>	<p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大衆」と「スポーツ」の関係について整理させる。</li> <li>・「消費者」と「ビジネス」の関係について考えさせる。</li> <li>・「メディア」の存在と影響力の変化について、その変遷とともに説明させる。</li> <li>・「ナショナリズム」について考えさせる。</li> <li>・「社会を可視化している」とはどのようなことか考察し、考えを共有させる。</li> </ul> <p>【教材】</p> <p>「消費されるスポーツ」 (多木浩二)</p>		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章中の比喩表現や強調表現の内容を理解した上で、推論の仕方について理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「メディア」と「スポーツ」の関係を把握した上で、活動の総体としての「社会」を導くという文章展開を的確に捉えている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者が論じる「消費されるスポーツ」について、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	8
<p>E 筆者の考えを踏まえ、現代社会の抱える問題について考察を深めさせる。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章構成や展開の仕方について理解を深め、現代社会の状況を分析させる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文中の表現から筆者の意図を読み取り、現代社会の抱える問題について考えさせる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に沿った言語活動を行わせることで、学習内容の理解を深めさせる。</li> </ul>	<p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の考える『「高度技術社会」を支えている精神的基礎』について確認させる。</li> <li>・「能動的ニヒリズム」について現代における事例を挙げ、具体的に説明させる。</li> <li>・「安楽への隷属」が「遠方を見る視力」を奪うのはなぜか、考えさせる。</li> <li>・筆者の提案する「何らかの意識的努力」について考えさせる。</li> <li>・「大衆消費社会」を読み、さまざまな組織を取り組んでSDGsの活動事例について調べ、報告書を作成させる。</li> </ul> <p>【教材】</p> <p>「『安楽』への全体主義」 (藤田省三) 「大衆消費社会」</p>	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な段落の構造や論の形式などを理解した上で、現代社会の現状について理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「安楽への隷属」という表現から筆者の意図を読み取り、現代社会の抱える課題や改善策について考察を深めている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「政府」「企業」「自治体」「教育・研究機関」が行っているSDGsに関する取り組みについて、HPなどを活用して調べたものを、わかりやすくまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	7
<p>F 夏目漱石の講演録と、漱石の時代について考察した文章を関連づけて読むことで、時代背景が人間や作品にもたらす影響について考えさせる。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報と情報との関係について理解を深めさせる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な観点から情報を収集・整理した上で、自分の考えをまとめ、論述する力を身に付けさせる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に沿った言語活動を行わせることで、学習内容の理解を深めさせる。</li> </ul>	<p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「内発的」「外発的」という言葉について考えさせる。</li> <li>・漱石が「悲観的結論」に至った理由を説明させる。</li> <li>・漱石が明治という時代をどう分析しているか考えさせる。</li> <li>・異文化との接触が、漱石や当時の日本人に与えた影響について自分の考えをまとめさせる。</li> </ul> <p>【教材】</p> <p>「現代日本の開化」(夏目漱石) 「漱石が生きた時代」 (北川扶生子)</p>	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主張とその前提や反証など、情報と情報との関係について理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料から得た情報を目的や意図に応じて整理し、自分の考察を深める手立てとしている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの文章の内容を踏まえて、自分の考えをまとめ、学習課題に沿って説明しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	5
<p>定期考査</p>		26	40	○	○		1
							合計
							70